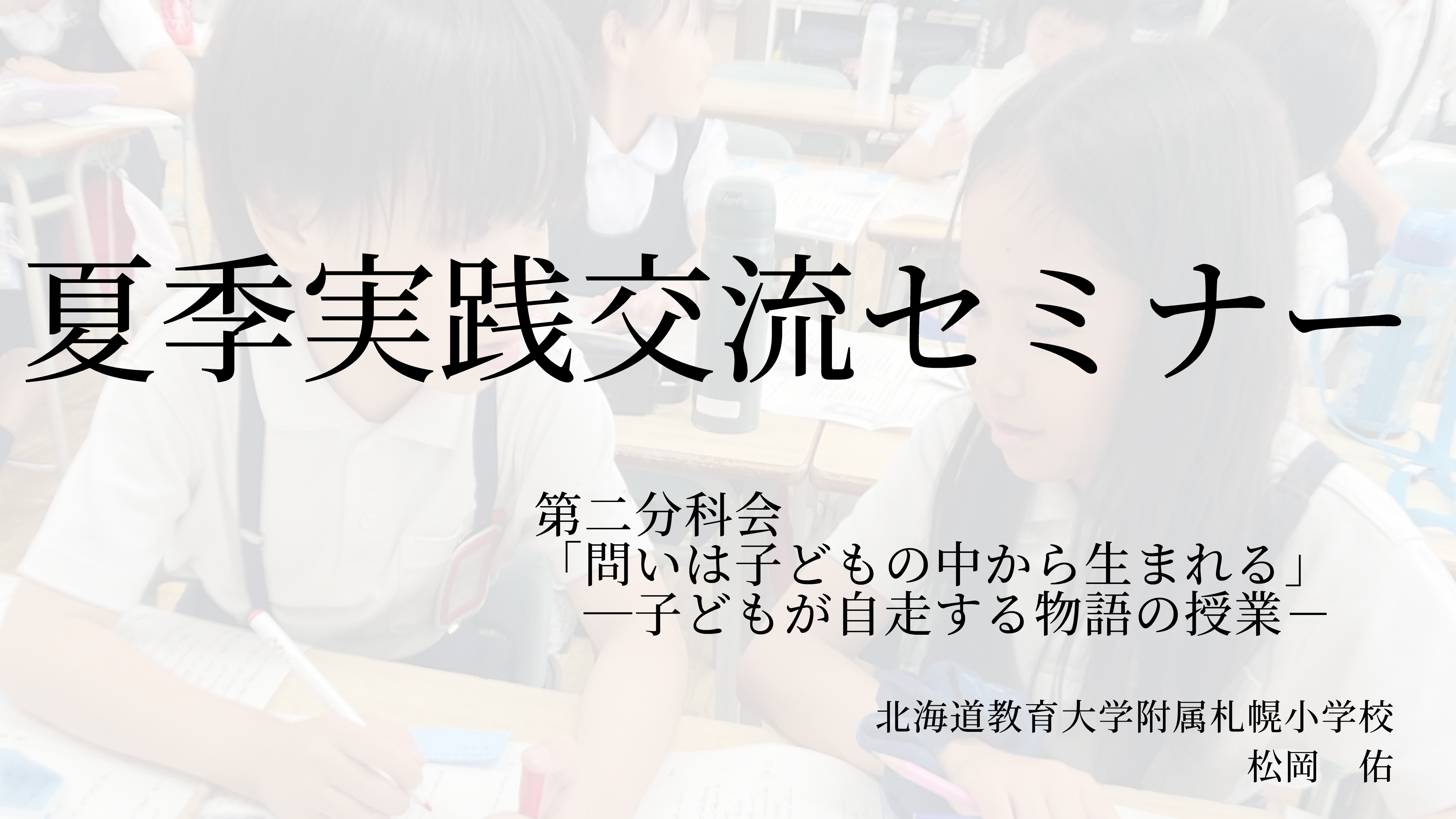


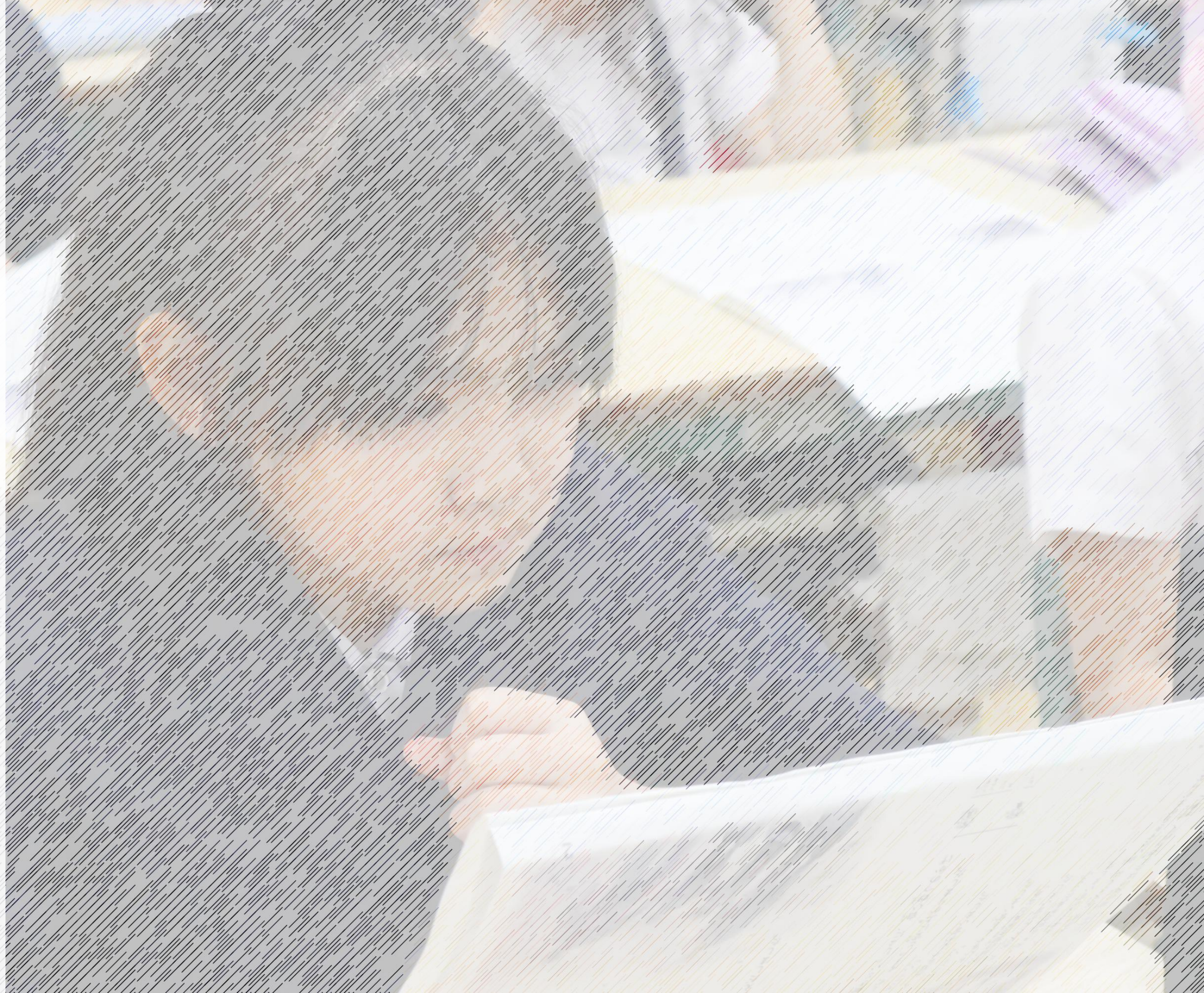


夏季実践交流セミナー

第二分科会
「問いは子どもの中から生まれる」
—子どもが自走する物語の授業—

北海道教育大学附属札幌小学校
松岡 佑

01 国語科の 学びとは



主体的で深い学び 学習の個性化 協働的な学び

GIGAスクール構想 対話的な学び プロジェクト型学習

見方・考え方 指導の個別化

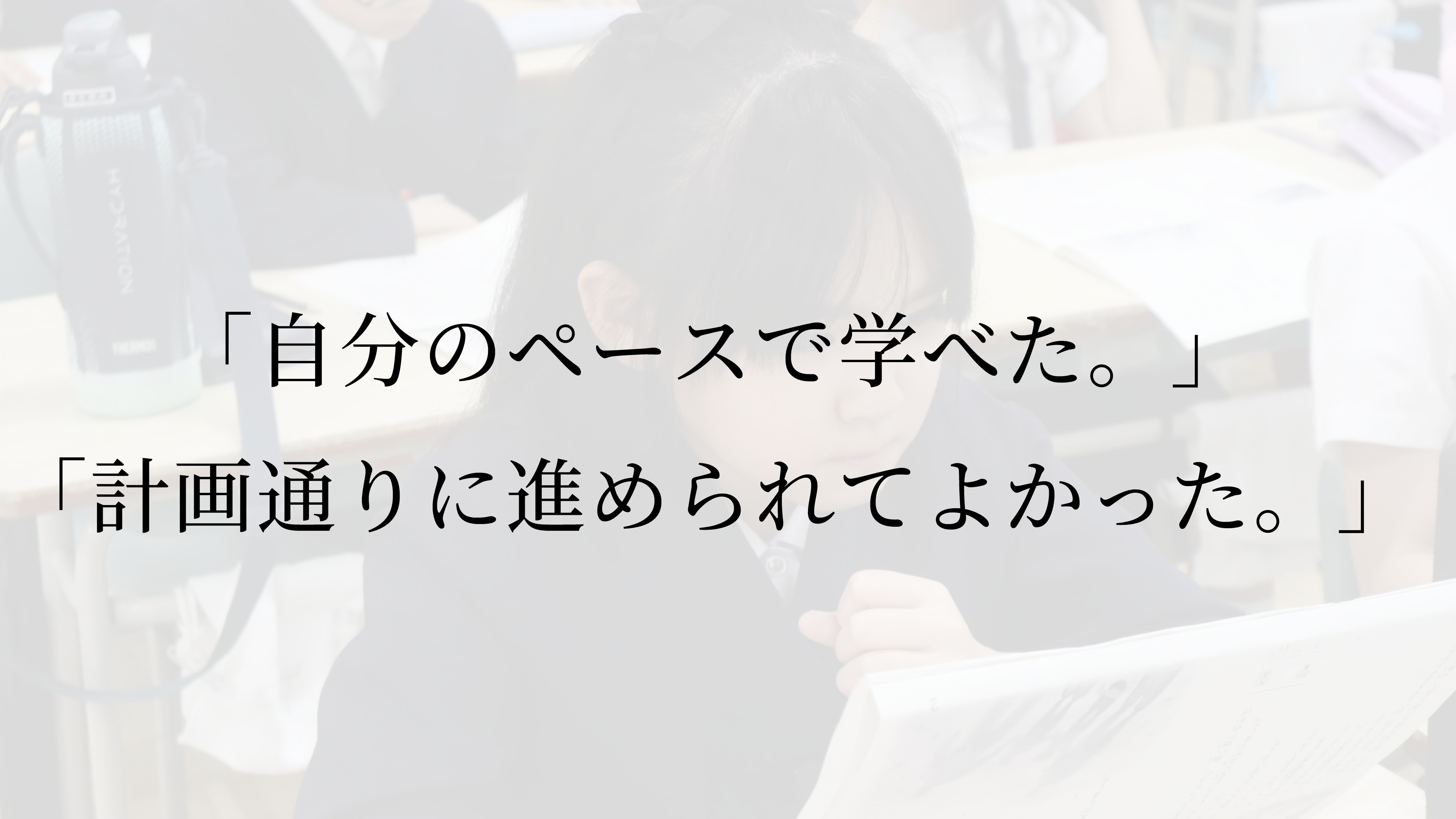
個別最適な学び 自由進度学習 自己調整学習

パフォーマンス評価 探究学習 非認知能力

コンピテンシー・ベース カリキュラムマネジメント

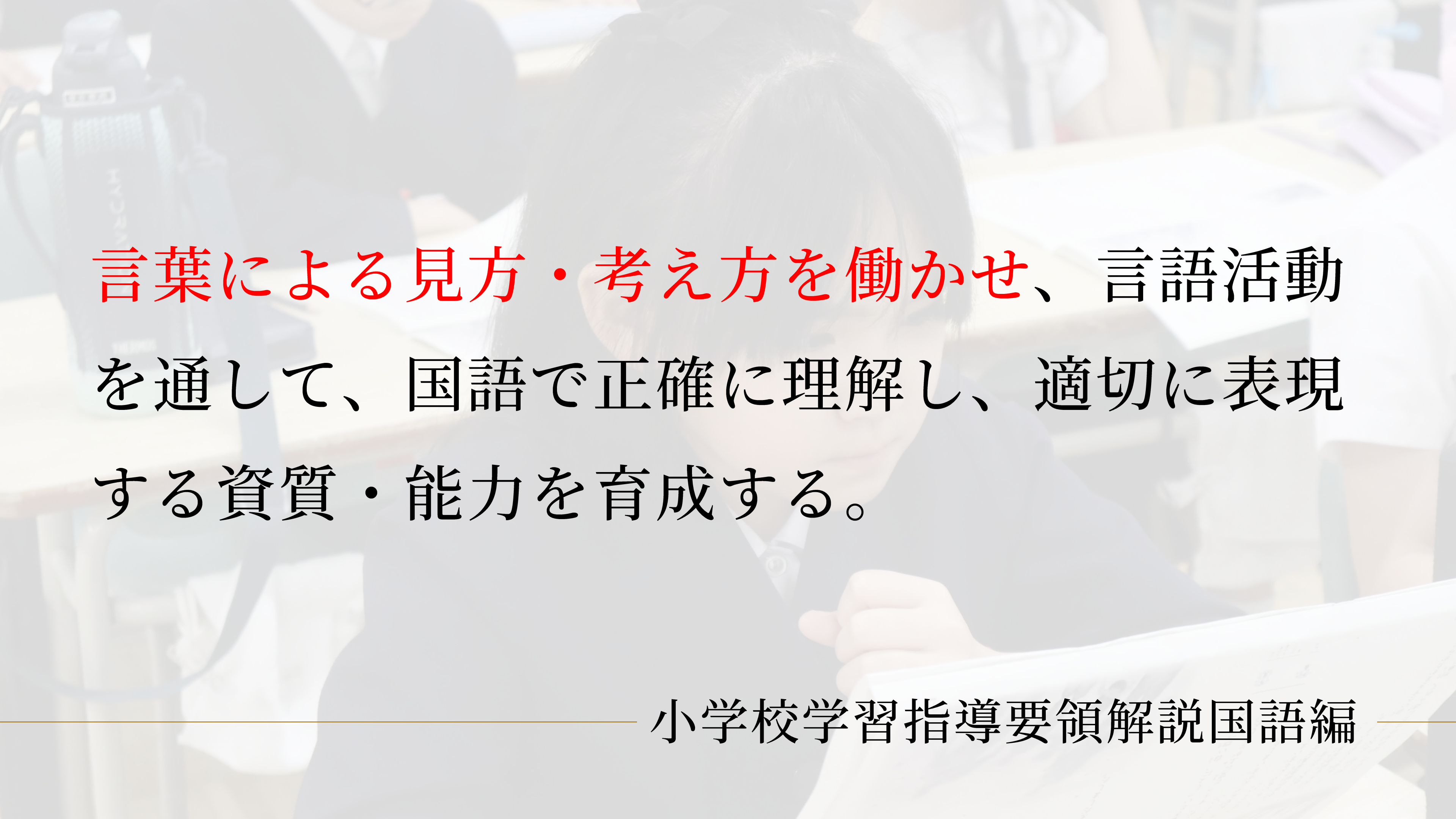
社会に開かれた教育課程 主体的・対話的で深い学び

アクティブラーニング 真正の学習

A background image of a student in a classroom, wearing a dark blue school uniform, sitting at a desk and reading a book. A black water bottle with 'HYDRATION' written on it is visible on the desk to the left. The image is semi-transparent, allowing the text to be overlaid clearly.

「自分のペースで学べた。」

「計画通りに進められてよかった。」



言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成する。

— 小学校学習指導要領解説国語編 —

言葉による見方・考え方

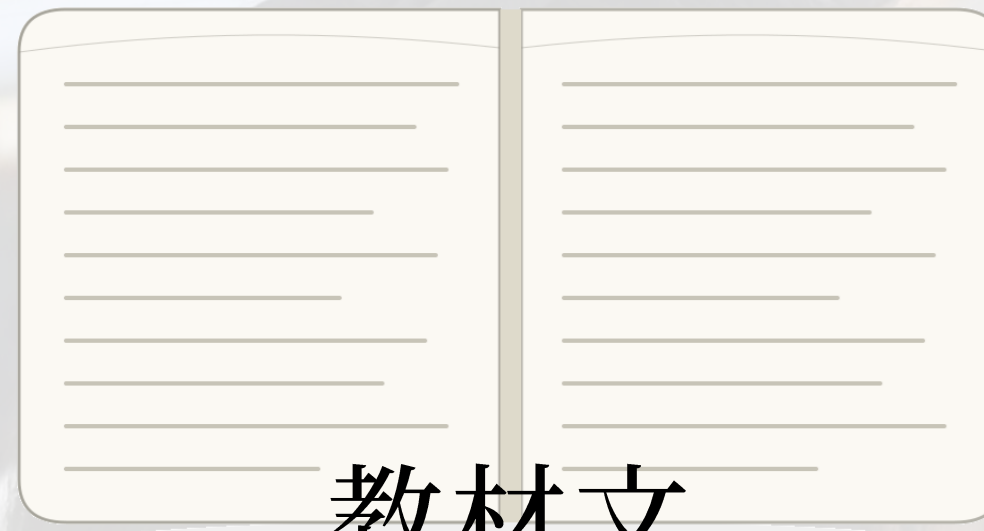
言葉

働き

意味

使い方

捉え直したり、問い直したりして言葉への自覚を高めること



教材文

特定の**言葉**に焦点化

特定の言葉の意味や働き、
使い方は理解できる。

自ら言葉を捉え直す力は
育ちにくい。

自ら言葉にこだわり、磨いていく。

思考・行動する中で生まれた問いを起点に
自ら目標を更新しながら
より適切で豊かな表現を追い求めようとする姿

白走

意図的に授業をデザイン

資質・能力
教材の特性 の吟味

どうしてその
言葉にしたの？

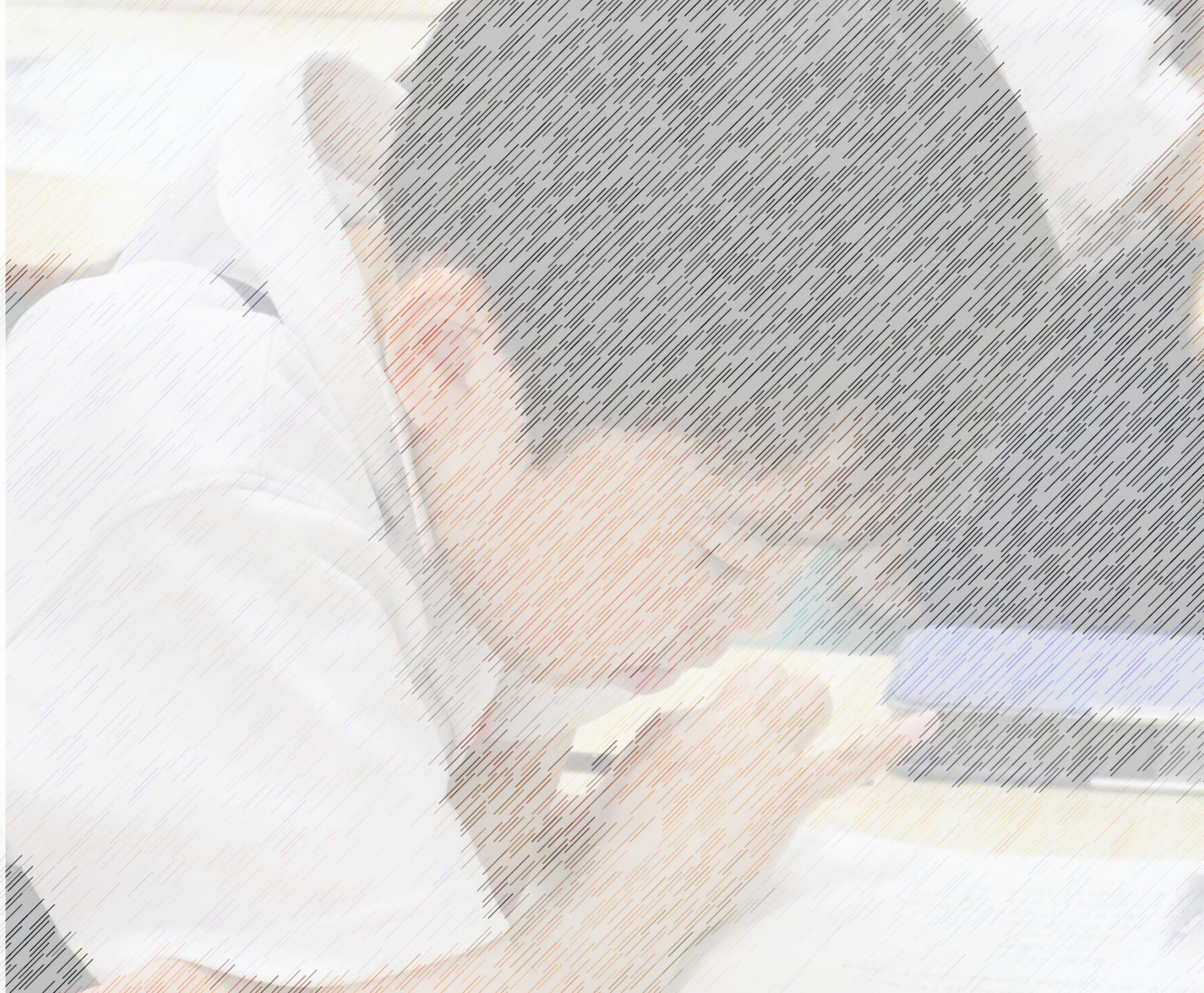
問い

どうしたらもっと適切
に表現できるの？

資質・能力の育成

02

国語科で 目指す 自走とは



西林克彦

わかつたつもり

読解力がつかない本当の原因

光文社新書

ほとんど
宣伝して
ないのに、
口コミで
20万部
突破!

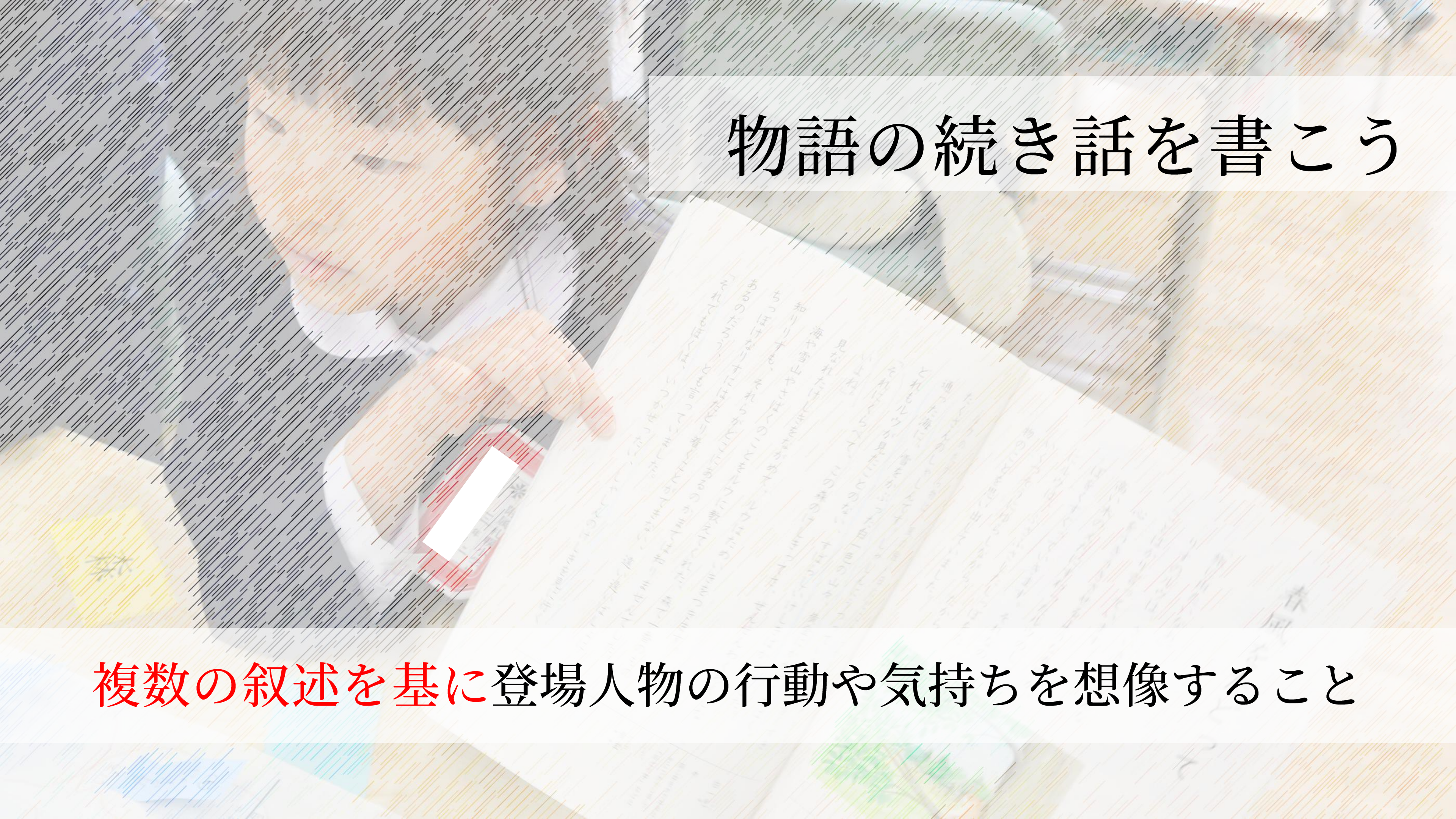
続々重版!

**驚異の
ロングセラー**

仕事・受験に役立つ一冊

わかつたつもりは安定しているがゆえに、その先の探索活動を妨害する。

西林 克彦（2005）

A close-up, slightly blurred photograph of a person's hands writing on a white sheet of paper. The person is wearing a grey long-sleeved shirt. They are holding a red pen with a white label and writing in cursive Japanese. The background is a soft-focus view of a desk with various items like a pen holder and other papers.

物語の続き話を書こう

複数の叙述を基に登場人物の行動や気持ちを想像すること



目標 A

ルウは一か月後に写真の景色に行くか、森に行くかを考えよう。

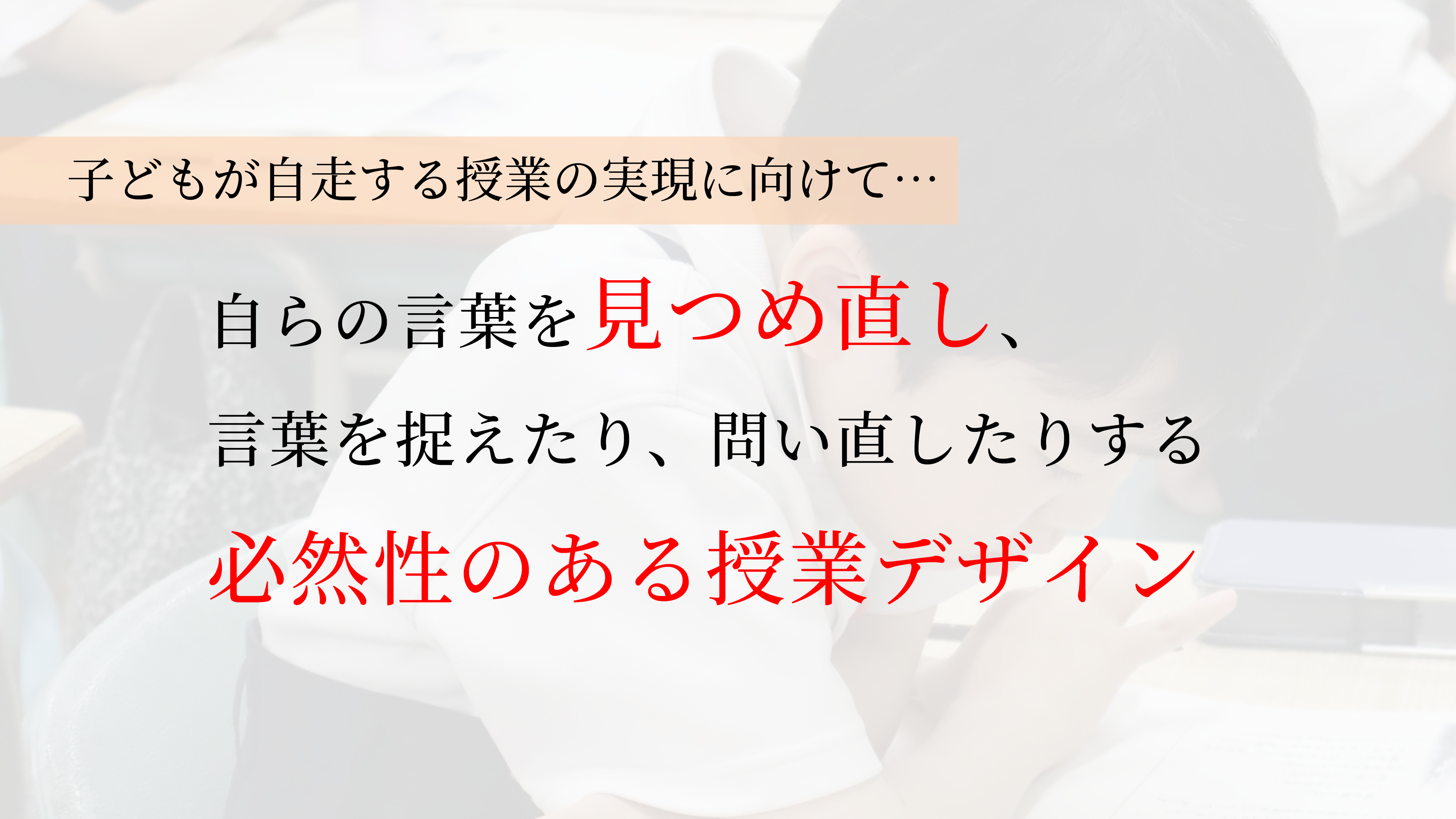
問い

友達のノノンと一緒に行くのだろうか？

目標 B

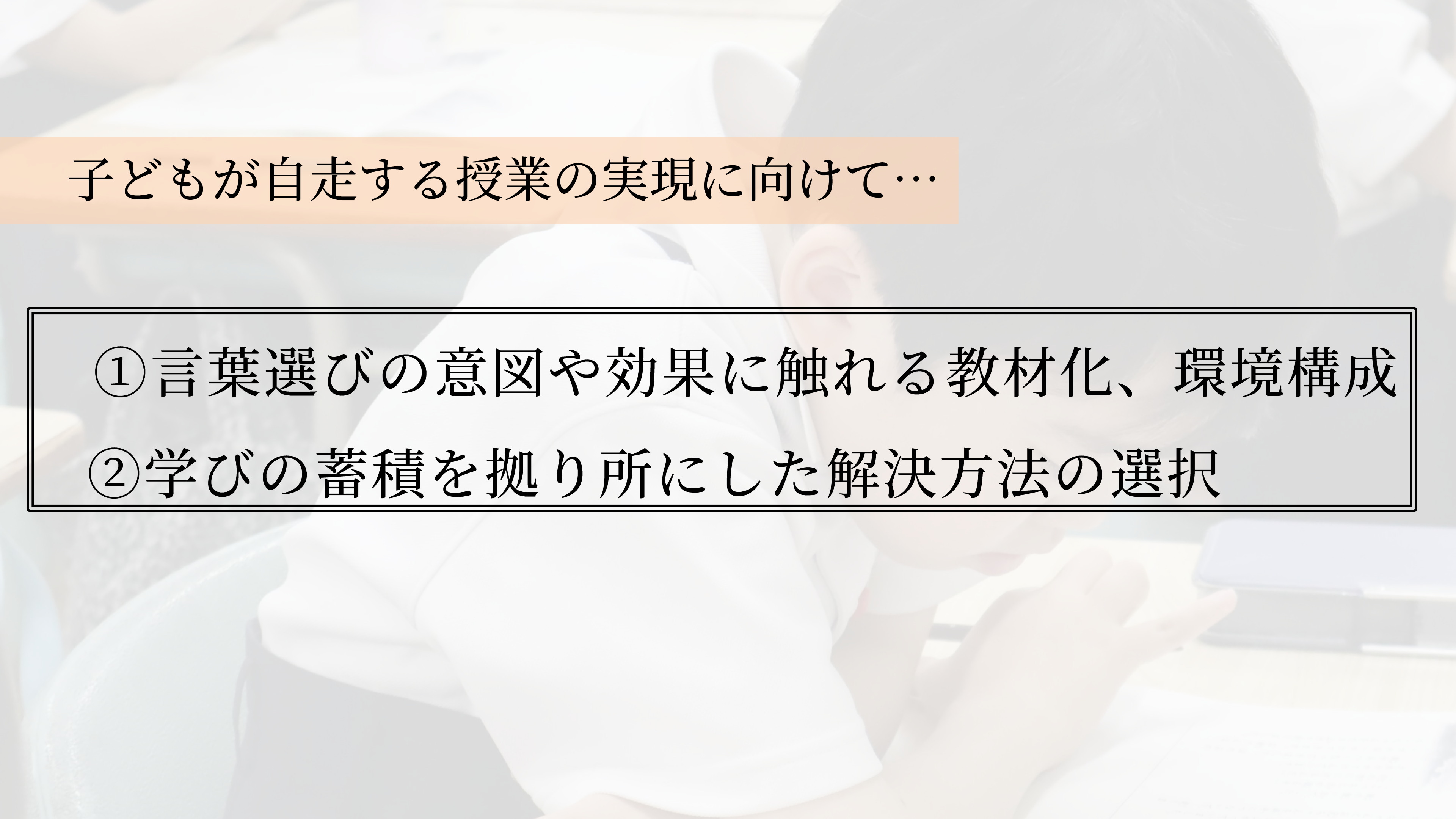
今までのお話の流れを大切にして続きを考えよう。

「**複数の叙述を基に**登場人物の行動や気持ちを想像することができる。」



子どもが自走する授業の実現に向けて…

自らの言葉を**見つめ直し**、
言葉を捉えたり、問い直したりする
必然性のある授業デザイン

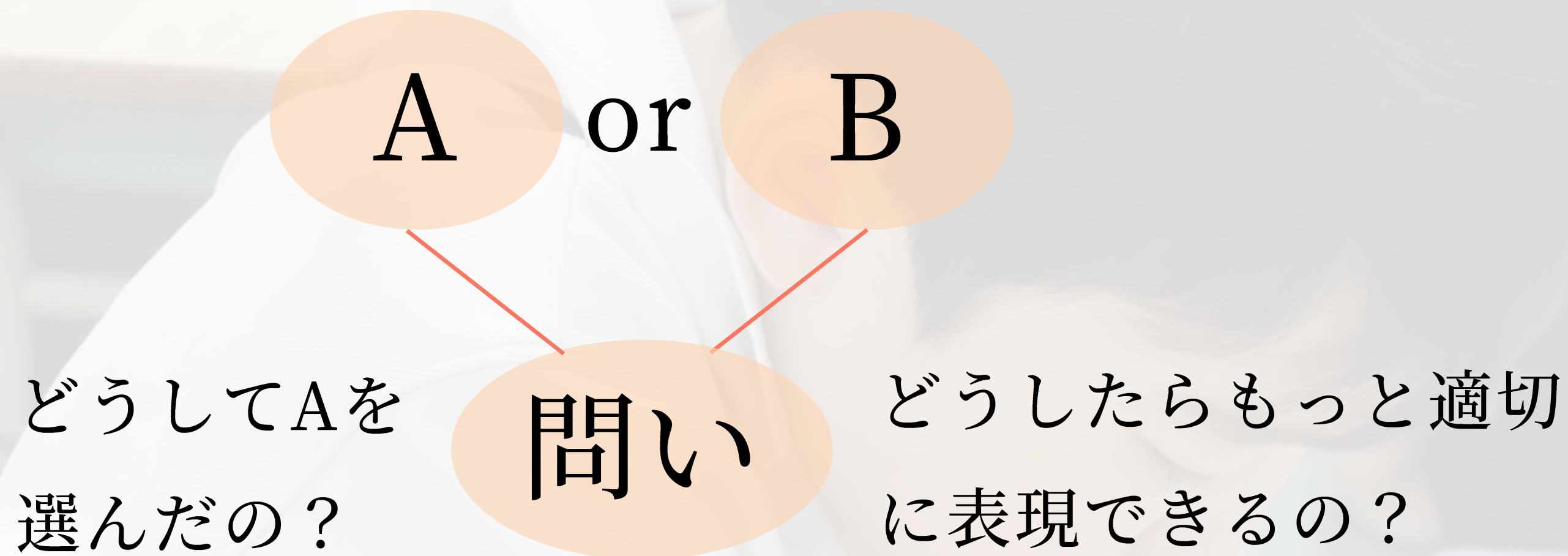


子どもが自走する授業の実現に向けて…

①言葉選びの意図や効果に触れる教材化、環境構成

②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択

①言葉選びの意図や効果に触れる教材化、環境構成



目標の更新

②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択

前の方法で試してみよう

友達が書いたものを参考にしたい

子どもが自走する授業デザイン

読めた！
表現できた！

①他者の言葉選びの意図や効果に触れる教材化、環境構成

言葉を**見つめ直す**

もう一度確かめたい！
もっと伝わるようにしたい！

②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択

前の方法でやってみよう！

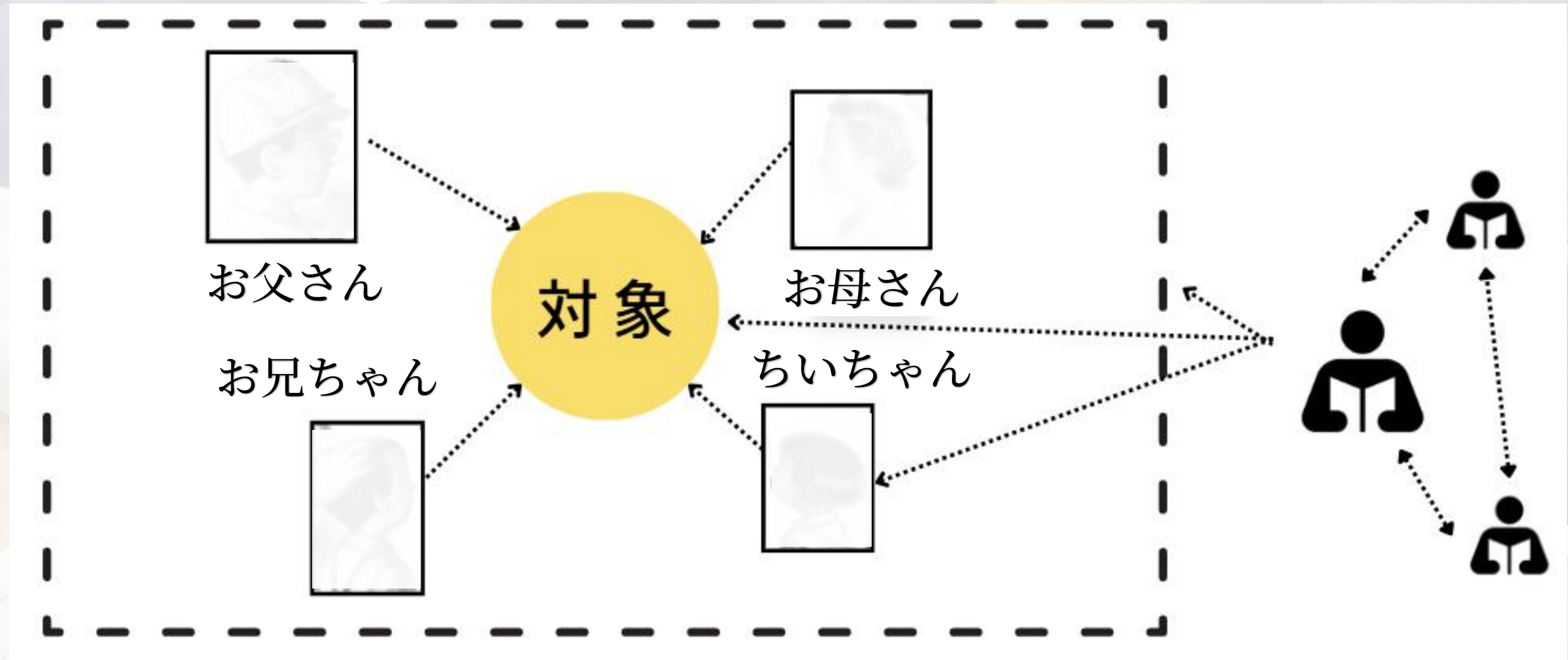
03

自走する 授業の 実際

「ちいちゃんのかげおくり」



ちいちゃんのかげおくり



誰の立場で捉えるか→異なる考え

【資質・能力】

- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。

(知識及び技能)

- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けながら、**お話の展開に合わせて言葉の意味を捉え**、具体的に想像することができる。
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもち、**より適した言葉で表現**することができる。

(思考力、判断力、表現力等)

- ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、**より適した言葉で表現しようとする**ことができる。

(学びに向かう力、人間性等)



目標 A

悲しいお話か、幸せなお話か考えよう

問い

どんな言葉で表したらいいの？

目標 B

お話にぴったり合う言葉を考えよう

「文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもち、
より適した言葉で表現することができる」

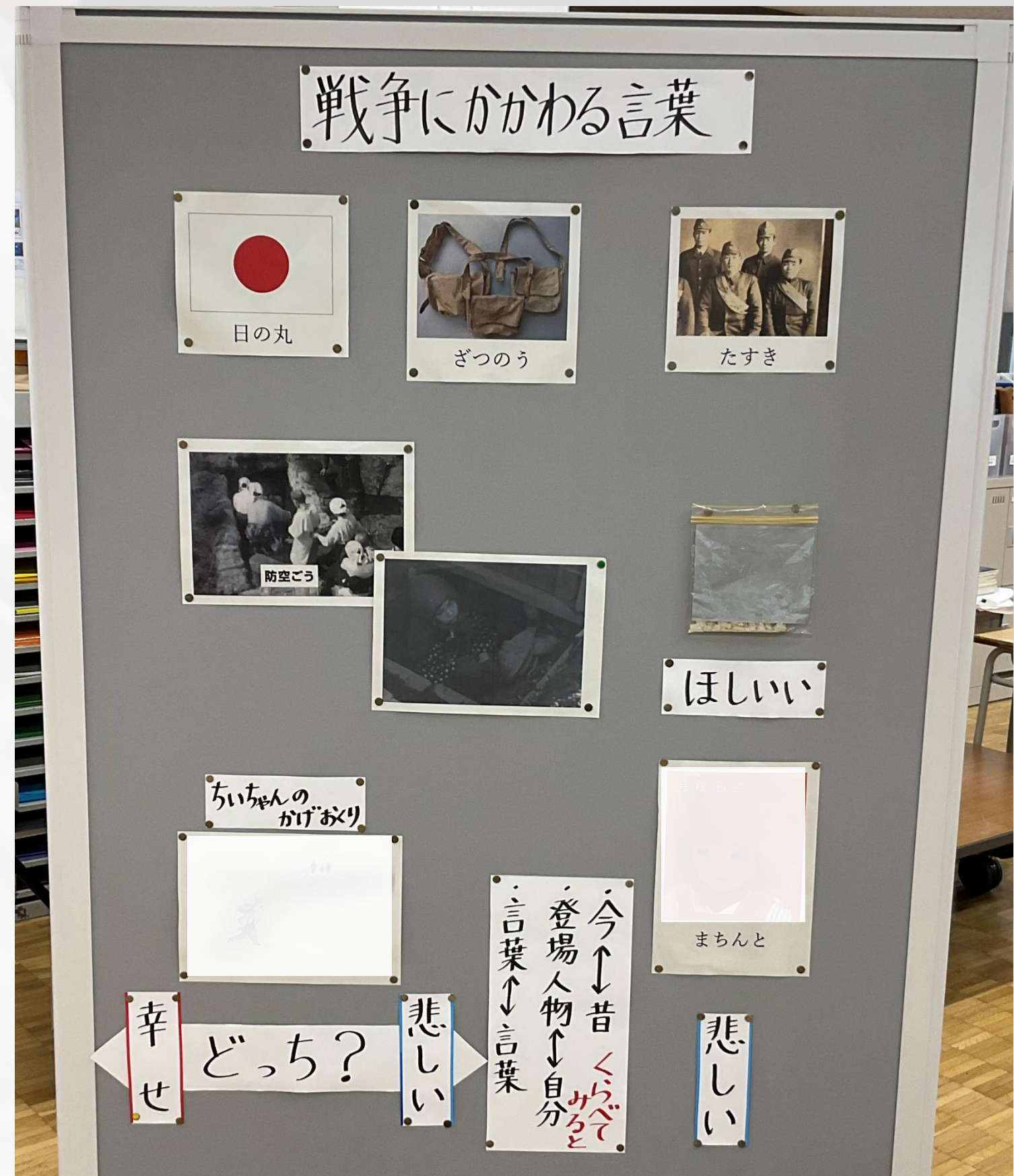
①言葉選びの意図や効果に触れる教材化、環境構成

戦争＝悲しいお話

「まちゃんと」

②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択

当時の様子を理解すること、登場人物の気持ちを豊かに想像することにつながる。



①言葉選びの意図や効果に触れる教材化、環境構成

悲しいだけじゃない……

「ちいちゃんのかげおくり」

①言葉選びの意図や効果に触れる教材化、環境構成

悲しいお話なのか、幸せなお話なのか考えよう

悲しい or 幸せ

②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択

マイ教科書
悲しい＝青

幸せ＝赤



「おはようございます。今日はいい天気ですね。お花も咲いています。お散歩に行きましょう。」
「はい、いいですね。お花も綺麗ですね。お散歩に行きましょう。」
「おはようございます。今日はいい天気ですね。お花も咲いています。お散歩に行きましょう。」
「はい、いいですね。お花も綺麗ですね。お散歩に行きましょう。」

「おはようございます。今日はいい天気ですね。お花も咲いています。お散歩に行きましょう。」
「はい、いいですね。お花も綺麗ですね。お散歩に行きましょう。」
「おはようございます。今日はいい天気ですね。お花も咲いています。お散歩に行きましょう。」
「はい、いいですね。お花も綺麗ですね。お散歩に行きましょう。」

おはよう

おはよう

おはよう



②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択



「悲しい場面が多かったので、
悲しいお話にしました。」



①言葉選びの意図や効果に触れる教材化、環境構成

悲しいお話なのか、幸せなお話なのか考えよう

悲しい or 幸せ

悲しいも幸せ
も両方あるな。

問い

どんな言葉で
表したらいいの？

お話に **ぴったり合う** 言葉を見付けよう



100% COTTON





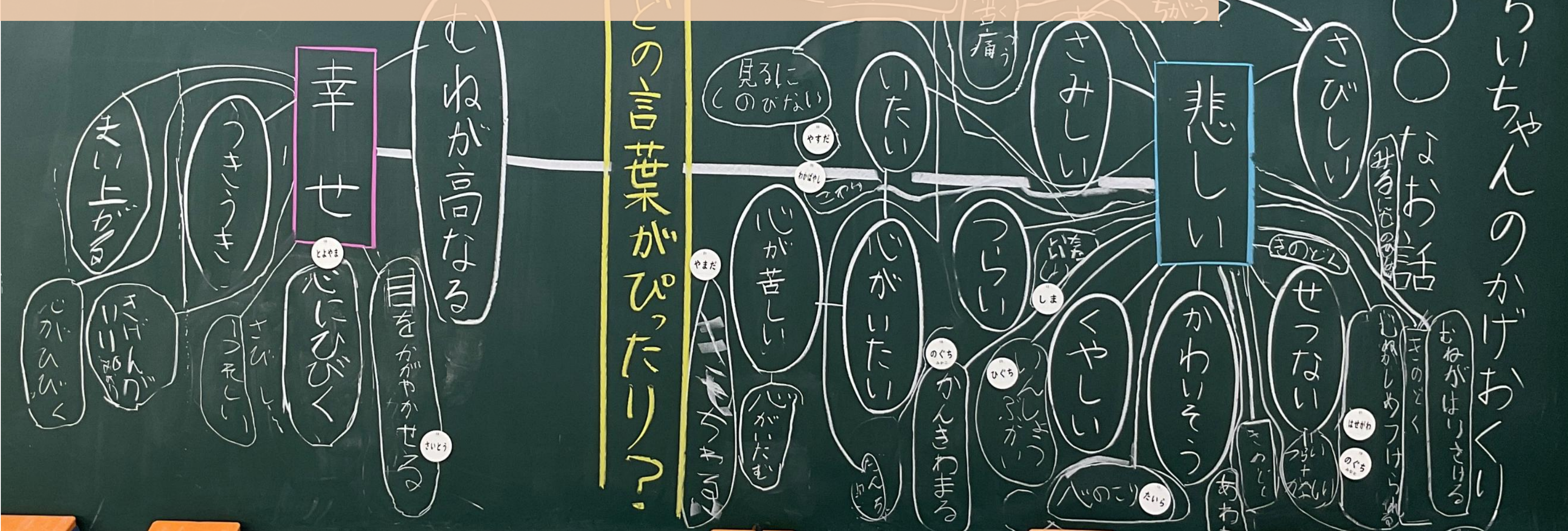




②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択

ぴったりの言葉を探す

②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択



多様な言葉に触れる場の設定

②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択

言葉の意味、働き、使い方に着目しながら

②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択



多様な言葉に触れる場の設定

04

成果と 課題



①言葉選びの意図や効果に触れる教材化、環境構成

判断を迫る課題を設定したことで、自分の感じ方に向きあい、言葉を吟味する姿が見られた。

問いを起点に、自ら目標を更新する学びをデザインすることで、言葉にこだわる姿が見られた。

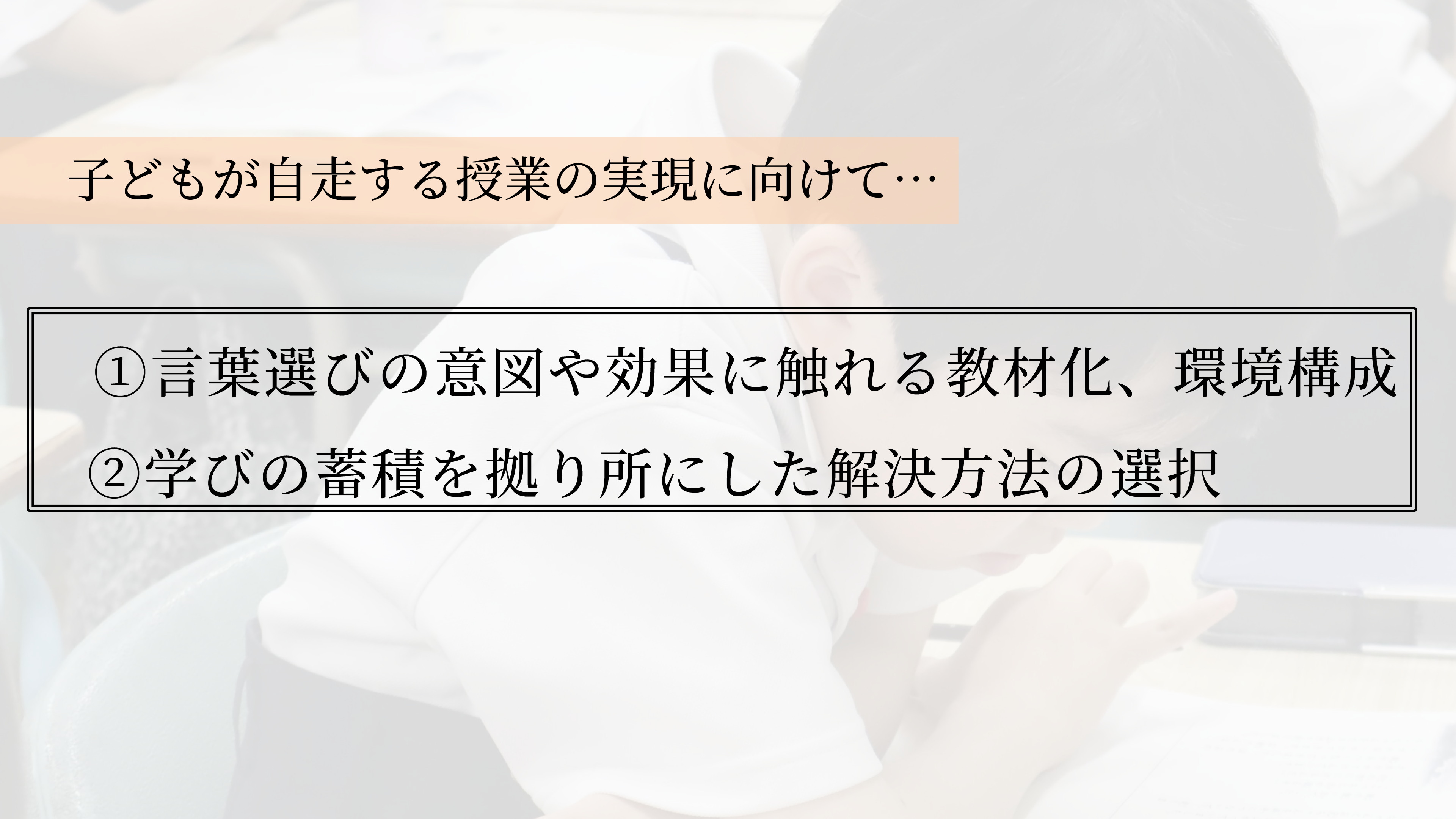
A or B

問い

子どもたちがより目標を更新したくなるような必然性のある活動、相手意識の醸成が必要だった。

言葉を**見つめ直し**、**大切に**する

より多くの子が言葉の力が身に付いたことを実感できるような関わりが欠かせない。



子どもが自走する授業の実現に向けて…

①言葉選びの意図や効果に触れる教材化、環境構成

②学びの蓄積を拠り所にした解決方法の選択

「チョウのかんさつ」





目標 A

チョウの体を粘土で表そう

問い

チョウの足はどこから何本生えているのだろう？

目標 B

実物を確かめてみよう。

「昆虫の育ち方には一定の順序があること、また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを**実感**を**伴って**理解することができる。」

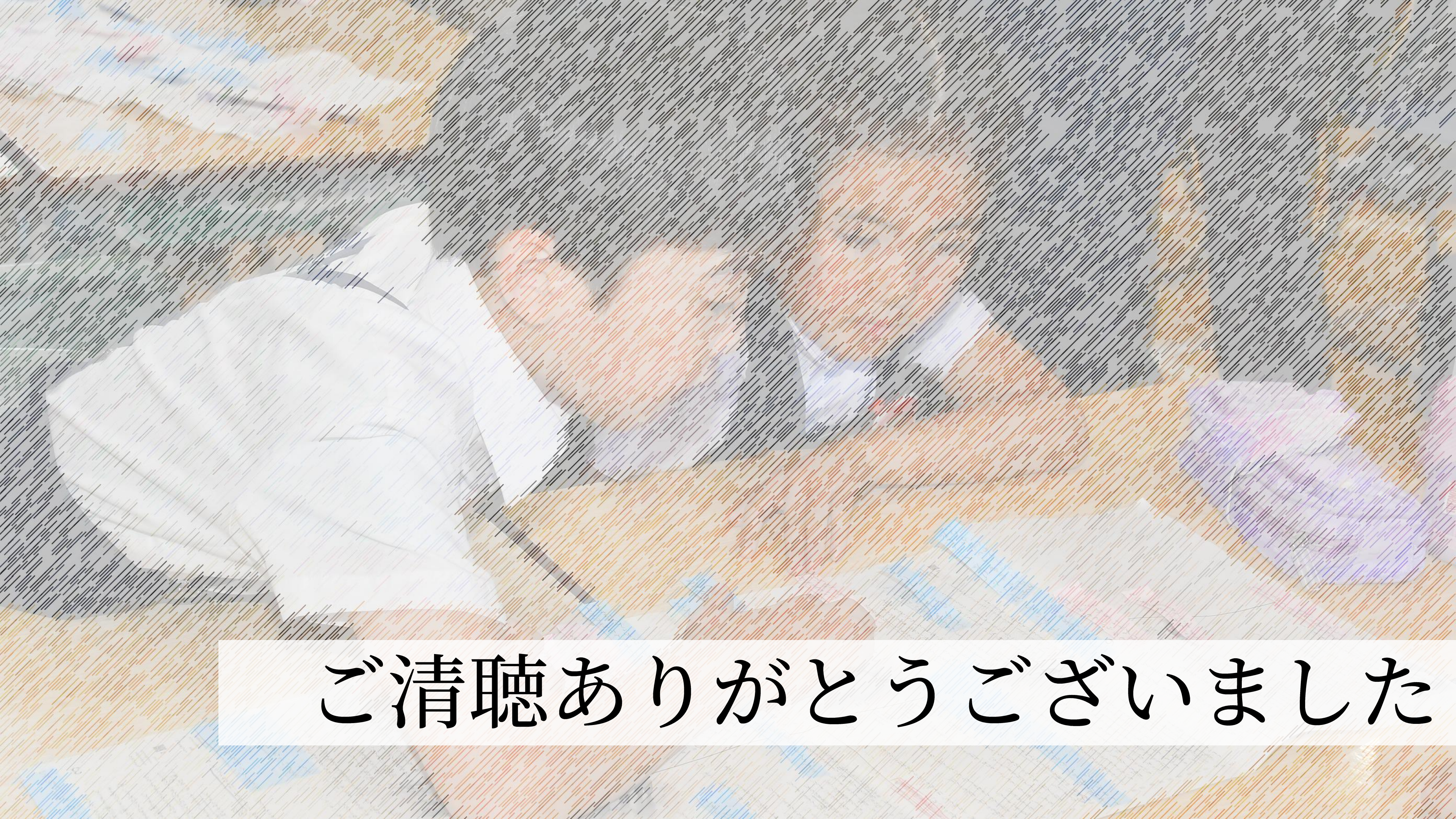
世帯

目標A

問い

目標B

資質・能力の獲得



ご清聴ありがとうございました

第3次公開
3年
国語科

ちいちゃんのかげおくり
～あなたはどうか捉える？～

指導者 松岡 佑
学 級 3年 2組



1. 子どもが自走する授業で育む資質・能力

物語を読むとは、作者の選んだ言葉を読み手が自分の経験や感性で受け取る営みであり、同じ作品であっても読み手によって感じ方が異なる。小学校学習指導要領解説国語編でも、第3学年以降、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことが重視されている。自分なりの言葉で考えを形成する営みは、自分がどのように作品を捉えているかを自覚することにつながる。その際、同じ言葉であっても読み手によって捉えが異なることへの気付きは、物語を読み深めていく上で重要な契機となる。しかし、作品全体の感想の違いは自覚できても、同じ言葉への捉えの違いに気付くことは難しく、教師の働きかけによって気付かせる展開が多くあった。

そこで本単元では、子どもたち同士の交流の中で、同じ言葉に対する捉えの違いに自ら気付く必然性のある授業をデザインする。具体的には、判断を要する課題を設定し、叙述を根拠に交流する中で同じ言葉への捉えの違いが子どもたちの中から自ずと生まれるよう展開していく。子ども同士が互いの捉えの違いに気付き、理由を聞き合いながら、お話の展開に合わせて言葉を捉え直していく。そうした過程を通して、自分なりの言葉で表現しようとする姿を引き出し、以下の資質・能力の育成を目指す。

- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。
(知識及び技能)
- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けながら、**お話の展開に合わせて言葉の意味を捉え**、具体的に想像することができる。
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもち、**より適した言葉で表現**することができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、**より適した言葉で表現**しようとするすることができる。
(学びに向かう力、人間性等)

2. 子どもが自走する授業と目指す子どもの姿

本単元では、子どもたち同士の交流の中で同じ言葉に対する捉えの違いに自ら気付き、自分なりの言葉で表現しようとする姿を自走と位置付ける。

一時間目には、教師が意図的に戦争の悲惨さや恐怖が描かれた絵本を選び、読み聞かせを行う。その際、戦争がもたらす悲しいといった負の側面に対する反応を引き出していく。二時間目には、「ちいちゃんのかげおくり」を読み、感想を交流する。本教材には戦争の悲惨さと家族の温かな絆の双方が描かれており、子どもたちの中に、悲しいだけではなく「よかった」「幸せ」などの感情が生まれていることに気付くよう関わっていく。一時間目に読んだ戦争のお話と本教材を読んだ際の感情のずれを起点として、「ちいちゃんのかげおくりは悲しいお話か、それとも幸せなお話か。」という子どもの内なる疑問を引き出し、その根拠を見付けようとする意欲を高め、詳しく読む必然性を生んでいく。あえて完全に対にならない「悲しい」と「幸せ」にすることで、どちらとも言いきれない揺らぎが生まれ、自分なりの言葉を探る必然性を高めていく。根拠を明確にした話合いにするための手だてとして、同じ考えをもつ人同士でグループを構成し、一枚の全文シートを活用して話合いを行う。悲しいと思う根拠には青線を、幸せだと思う根拠には赤線を引き、理由を交流していく。そうすることで、より多くの根拠を見付けることができ、自分の考えを確かなものにしていく姿を引き出していく。だからこそ、本時において異なる立場との交流が生まれた際に、同じ言葉でも捉えが違うことへの気付きが鮮明になると考える。

本時まで「悲しいお話か、幸せなお話か」というテーマで自分の立場を決めて読んできたからこそ、本時の導入でも、改めて立場を明確にした上で話合いを行う。その際に、全文シートを活用し、同じ言葉でも悲しいと読む子と幸せと読む子が存在することを顕在化し、一つの言葉でも読み手によって捉え方が異なることに気付くよう関わっていく。そのような対話を通して、どちらか一方の言葉では表しきれないという揺らぎが生まれ、自分なりの言葉で表現しようとする姿につながると考える。

3. 本単元の活動構成

	学習活動 7時間	目的・目標の更新
1	○戦争の絵本を読み、感想を交流する。 戦争でたくさんの人が亡くなるんだね。悲しいな。 自分と同じくらいの子がこんな目にあうなんて……。 他の戦争のお話も悲しいのかな。読んでみよう。 戦争のお話ってとても悲しい気持ちになるね。	活動の目標 戦争について描かれている絵本を読もう。
2	○ちいちゃんのかげおくりを読み、感想を交流する。 戦争のお話ってやっぱり悲しいよね。 この間読んだ戦争のお話とは違って、悲しいだけじゃないよ。 最後に家族と会えたから幸せなお話だと思うよ。 ちいちゃんのかげおくりは悲しいお話なのかな、それとも幸せなお話なのかな。	学びの目的 お話を読んで感じたことを話し合い、悲しいお話か幸せなお話かどちらなのか考えてい。

3	○悲しいか幸せを判断し、その理由や根拠を考え、マイ教科書にまとめる。 悲しいお話だと思うな。ちいちゃんが亡くなっていると教科書に書いてあるよ。 ようやく最後会えたと書いているからちいちゃんは幸せだと思うな。	活動の目標 マイ教科書を使って、自分の考えの根拠を探そう。
4	○全文シートを活用し、同じ立場の友達と考えを交流する。	
5	悲しい 私たちより小さいのずっと一人ぼっちでいたなんて……。 最後のかけおくりは家族みんないるけど、死んでしまっているよ。 家族みんな亡くなってしまったんだね。かわいそう。 死んでいるのに笑っているなんて悲しいよ。 幸せ 途中はできなかったけど、最後はみんなでかけおくりができたよね。 ちいちゃんはずっとかけおくりしたかったもんね。 ずっと一人ぼっちだったから会うことができて幸せだと思う。 自分がちいちゃんだったとしたら家族に会えて嬉しいよ。 同じ立場の人と交流することで、根拠をたくさん見付けることができ自分の考えがはっきりしてきたよ。	活動の目標 全文シートを使って自分の考えを深めよう。
6	本時の目標： 悲しいお話か幸せなお話かについて話し合う活動を通して、お話の展開に合わせて文章の言葉の意味を捉え、作品についての考えをより適した言葉で表現することができる。	
	選んだ立場の根拠をたくさん見付けることができたよ。 自分とは違う立場の人はどうしてその考えになったのだろう。 違う立場の人と話し合ってみたいな。 目標 A 悲しいお話なのか、幸せなお話なのかを考えよう。 ○全文シートを用いながら違う立場の人と話し合う。 私は、○○のところに線を引いたよ。なぜかという……。 「笑いだした」って書いてあるんだから幸せだったんじゃないの。 亡くなった状態で会っているのに幸せだなんて悲しすぎるよ。 あれ？同じ言葉なのに、青と赤の線が引かれているところがあるよ。 ちいちゃんは幸せだったのかもしれないけど……。それってつらいな。 悲しいも幸せも両方当てはまるお話のように感じてきた。 悲しいも幸せも両方当てはまる時、このお話をどう表したらいいのかな。 悲しくて、幸せなお話でもいいと思うけど…。 もっと他の言葉で表した方がいい気がするな。 目標 B お話にぴったり合う言葉を考えよう 悲しいけど家族との絆があるから、「温かいお話」がいいと思うな。 天国で家族に会えるなんてかわいそう。「辛いお話」だと思ったな。 戦争ってたくさんの命を消してしまったんだよね。「せつないお話」だと思うな。 同じ言葉でも悲しいと感じる人と幸せと感じる人がいることが分かった。だから、自分なりの言葉で表すといいんだね。 最初は悲しいお話と思っていたけど、交流したら切ない話だと思ったな。 最初に読んだ戦争のお話もただ悲しいだけじゃないね。自分なりの言葉で他のお話も表してみたいな。	【子どもの自走を引き出す授業デザイン】 ・ネームカードを用いて、どちらの立場を選んだのか分かるように視覚化する。 ・悲しいお話か、幸せなお話かについて立場の違う人と考えを交流できるよう環境を設定する。 ・立場で線を色分けした全文シートを活用することで、同じ言葉なのに捉えが違うことに気付くようにする。 ・立場を変えなくなった場合は、ネームカードを動かしてもよいことを伝え、悲しいか幸せかのどちらかだけではないことを視覚化し、自分なりの言葉で表現する必要感を醸成していく。
7	○単元の初めに読んだ本をもう一度読んだり、他の戦争のお話を読んだりして感想を交流する。 初めは悲しいとしか思っていなかったけど、残酷で悲しいお話だと思ったよ。 同じ言葉でも人によって感じ方が違うね。感じたことを自分の言葉で表すことができたよ。 自分なりの言葉で作品を表し、交流することで、初めて読んだ時と作品の見え方が変わったよ。	目的の達成 友達と話し合うことで、感じ方が違うことが分かった。作品を自分なりの言葉で表すことができた。

4. 本単元における評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	①登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けながら、 文脈の中で言葉の意味を捉え 、具体的に想像している。 ②文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもち、 より適した言葉で表現 している。	①文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、 より適した言葉で表現 しようとしている。

5. 本単元における指導と評価の計画

時間	主な学習活動	総括の資料のための評価「□」 指導に生かすための評価「・」		
		知・技	思・判・表	主体
1	戦争の絵本を読み、感想を交流する。		・②観察	
2	ちいちゃんのかげおくりを読み、感想を交流する。			
3	お話を読み、戦争に関連する言葉や当時の様子について共有し、場面の様子を想像する。	・□①観察 ワークシート記述		
4	自分の考えに対する根拠に線を引き、理由を考える。		・①観察 ワークシート記述	
5			□①観察 ワークシート記述	
6 本時	悲しいお話か幸せなお話かについて話し合う。		□②観察 ワークシート記述	・□①観察 ワークシート記述
7	「まちんと」をもう一度読んだり、他の戦争のお話を読んだりして感想を交流する。			